

「さびを防ぐ」技術講演会のご案内

- 私達の社会生活に欠かせない鋼材の製造には多くのエネルギーと労力が費やされますが、そのままでは腐食損耗して“さび”を生じ、“さび”が進行すると鋼材の寿命が失われてしまいます。
- 「溶融亜鉛めっき」は鋼材の表面に亜鉛皮膜を形成するめっき方法で、経済的に、長期にわたり“さび”を防ぐことができるため、今日では鋼材の防錆・防食に欠くことのできない技術となっています。また、「溶融亜鉛めっき」に使用する亜鉛地金は、鉱石から製錬されるほか、亜鉛めっきされた鉄スクラップを電気炉で溶解した際に発生する亜鉛含有の製鋼ダストを回収し、リサイクルされています。
- 社会資本の基盤である鋼材を『錆びない・腐食しない』新たな素材へと生まれ変わらせ、鉄スクラップからリサイクルされる亜鉛地金の使用も可能とする溶融亜鉛めっきは、『リユース、リデュース、リサイクル』の資源循環、鋼材の長寿命化に貢献する優れた防錆・防食技術です。私たちは、この技術を広く普及していくため、「さびを防ぐ」技術講演会を開催しています。

多くの皆さまのご参加をお待ちいたしております!!

【日 時】 令和7年10月24日(金) 13:00~17:45

【形 式】 ハイブリッド方式(対面、オンライン併用)

【会 場】 TKP東京駅カンファレンスセンター ホール10A

【定 員】 会場:100名 オンライン:400名 程度

【参加費】 無 料

【申込み】 鍍金協会ホームページ「お知らせ」欄のご案内又は以下申込フォームから。

◎ <https://pro.form-mailer.jp/fms/bdb73bdd339022>

【申込締切】 令和7年10月17日(金) 17:00

【講演プログラム】

- | | |
|---|-------------|
| ○ 開会挨拶 | 13:00~13:05 |
| 1) 溶融亜鉛めっきの基礎 | 13:05~14:15 |
| シーケー金属株式会社 めっき事業本部 課長 西田 雄治 | |
| 〔 溶融亜鉛めっき法は、鉄鋼製品の防錆方法として大変優れた技術です。本講では、各種の鉄鋼製品の亜鉛めっき法の概略、めっきなどめっき表面に見られる諸現象について説明します。 〕 | |
| 2) 溶融亜鉛めっきに関する話題あれこれ | 14:15~15:25 |
| 株式会社デンロコーポレーション めっき事業本部 エ学博士 今野 貴史 | |
| 〔 溶融亜鉛めっきに関する話題の中から、①低光沢処理(りん酸塩処理)、②溶融亜鉛アルミニウム合金めっき、③維持管理・補修方法について取り上げ、知っているようでよく知らない溶融亜鉛めっきを紹介します。 〕 | |
| ～ 休 憩 ～ | |
| 3) 溶融亜鉛めっき鉄筋の実施工上の課題に対する検討成果について | 15:25~15:35 |
| 一般社団法人日本溶融亜鉛鍍金協会 めっき鉄筋検討委員会委員 青野 正典 | |
| 〔 「亜鉛めっき鉄筋を用いるコンクリート構造物の設計・施工指針(案)」の改訂版が土木学会から発刊され、亜鉛めっき鉄筋は着実に認知されてきています。本講では、実際に適用された事例あるいはその後の調査によって得られた実施工上の課題に対する検討成果について説明します。 〕 | |
| 4) 溶融亜鉛めっき割れの発生要因とその対応策について | 15:35~16:15 |
| 一般社団法人日本溶融亜鉛鍍金協会 めっき割れ分科会委員 北野 祐司 | |
| 〔 近年、大型建築構造物にも多用されている溶融亜鉛めっき工法では、浸漬過程で柱梁接合部のめっき抜き円形孔(母材原質部)を起点としてめっき割れが発生することがあります。本講では、めっき割れの発生要因とその対応策について説明します。 〕 | |
| 5) 受講して得られた所見作成(土木学会CPD申請希望者のうち、オンライン参加者のみ。) | 16:15~17:15 |
| | 17:15~17:45 |

主催：日本鋳業協会 鉛亜鉛需要開発センター

一般社団法人日本溶融亜鉛鍍金協会

後援：経済産業省

協賛：一般社団法人 日本防錆技術協会

一般社団法人 表面技術協会

公益社団法人 腐食防食学会

(順不同)

CPD/CPDSプログラム申請について

- 本講演会は、(公社)土木学会CPDプログラム、(公社)日本建築士会連合会CPDプログラム共通認定、(一社)全国土木施工管理技士会連合会CPDSプログラム及び(一社)建設コンサルタンツ協会CPDプログラムの対象です。
- 学習履歴の申請は、各プログラム、会場参加者とオンライン参加者では異なりますので、以下をご参照ください。

【学習履歴の申請者〔会場・オンラインとも同じ〕】

- 土木学会CPDプログラム・建設コンサルタンツ協会CPDプログラム：各受講者が申請します。
- 上記以外のCPD/CPDSプログラム：主催者（一般社団法人日本溶融亜鉛鍍金協会）が代行して申請します。

【会場で参加される方】

(1) 土木学会CPDプログラム

⇒ 当日受付で本人確認を行い、講演会終了後、主催者から受講証明書を郵送します。

(2) 日本建築士会連合会CPDプログラム共通認定

⇒ 当日受付で本人確認を行い、受付の用紙に①建築士会CPD番号又はユーザーID、②カナ氏名を記入します。

(3) 全国土木施工管理技士会連合会CPDSプログラム

⇒ 当日受付で本人を確認し、受付の用紙に①CPDS技術者証登録番号、②漢字氏名を記入します。

(4) 建設コンサルタンツ協会CPDプログラム

⇒ 当日受付で本人を確認し、講演会終了後、主催者から受講証明書を配付します。

【オンラインで参加される方】

(1) 土木学会CPDプログラム

受講証明書(※1)は、次の事項が確認できた受講者に講演終了後、主催者から郵送します。

a) 受講申込が主催者にあり、主催者が各演題でZoomにより受講確認を行えること

b) 受講して得られた所見(学び、気づきなど)を100文字以上でまとめ、主催者に提出すること

(※1) 土木学会以外の団体に提出する場合の方法等は提出先団体に事前にご確認ください。他団体が運営するCPD制度に関する内容については回答いたし兼ねます。

(2) 日本建築士会連合会CPDプログラム共通認定

学習履歴の申請を希望する受講者は、申し込む際に、①建築士会CPD番号又はユーザーID、②カナ氏名を登録し、次の要件が確認できた受講者は、主催者が代行して申請します。

○ 受講申込が主催者にあり、主催者が各演題でZoomにより受講確認を行えること

(3) 全国土木施工管理技士会連合会CPDSプログラム

学習履歴の申請を希望する受講者は、申し込む際に、①CPDS技術者証登録番号、②漢字氏名を登録し、次の要件が確認できた受講者は、主催者が代行して申請します。

a) 受講申込が主催者にあり、主催者がZoomにより受講確認を行えること

b) 講演会中に3回撮影するスクリーンショット(※2)で学習履歴の申請を希望する者の受講確認(顔、氏名[フルネーム])を行えること

(※2) 学習履歴の申請を希望する者は、“必ず”カメラ機能を有するPC・タブレットなどを用い、常時カメラONで受講してください。

(4) 建設コンサルタンツ協会CPDプログラム

受講証明書は、次の事項が確認できた受講者に講演終了後、主催者から郵送します。

○ 受講申込が主催者にあり、主催者が各演題でZoomにより受講確認を行えること

【会場へのアクセス〔電車でお越しの方〕】

- JR山手線、JR総武線、JR横須賀線

東京駅 八重洲中央口から 徒歩1分

- 東京メトロ丸ノ内線 東京駅 自由通路経由 徒歩7分

